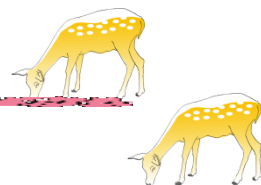


近事研サマーフォーラム報告

「チーム学校」論議と これからの学校事務職員の可能性



茨城大学教育学部 准教授 加藤 崇英 様

平成27年8月20日、東大寺総合文化センター金鐘ホールにおいて近事研サマーフォーラムを開催しました。各単位研究会の取組について報告の後、『「チーム学校」論議とこれからの学校事務職員の可能性』というテーマで、茨城大学教育学部准教授で文部科学省中央教育審議会専門委員 加藤崇英様にご講演をいただきました。

期待と課題

最近よく取り上げられる「チーム学校」の考え方と学校事務の共同実施についてお話をいただきました。歴史的な評価の段階に来ている共同実施を学校の外側を中心に動いているものとすれば、多職種で構成された教職員組織による「チーム学校」の議論は学校の内側を中心に議論が進み始めています。学校事務の共同実施を活用した“ネットワーク”的支援体制の推進など学校の外側、内側を同時設定して位置付けをしていくことがこれからの課題であるとともに事務職員にも期待を寄せられていることを教えていただきました。

マネジメントと 学校事務の機能強化

保護者や地域に「開かれた学校」による特色づくりの推進や、学校評価等責任ある教育の質の保証とその組織体制の構築など学校マネジメントの強化を進めてきたが、財務・予算マネジメントはあまり進展してこなかった。今後は自治体全体による一括購入や旅費執行などの予算調整、共同実施によるネットワーク的支援体制の構築がいつそう求められる。校内における事務総括と教員との業務シェア（とりわけ副校長・教頭・教務主任等とのマネジメント面における連携）、共同実施等、地域・学校間連携における企画・実践力など学校事務の機能強化を進めていくことが求められるということでした。

教職員の多忙化と 解消の取組

学校の中心は子ども。その子どもと教員が向き合う時間について取り上げられました。2013年に実施されたTALIS調査で日本の教



員は参加国の中で最も勤務時間が長いことがはっきりしました。授業時間は差がなく部活動の指導や一般的事務業務に多くの時間を費やしている現状や、保護者対応、また教員の“ちょっと”見てあげる、“ちょっと”聴いてあげる、“ちょっと”教えてあげるといったことも数値に見えにくい負担となっていると語られていました。教員が子どもと向き合う時間を確保するための学校の業務改善が急がれます。

チーム学校

平成27年7月16日、中央審議会初等中等教育分科会、チームとしての学校、教職員の在り方に関する作業部会の中間まとめとして「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」が出されました。また、平成27年7月27日、文部科学省より学校現場における業務改善のためのガイドライン～子供と向き合う時間の確保を目指して～が出されました。その中では、チーム学校として多様な職種の支援の必要性と可能性について示され、事務職員の実践事例が掲載されています。

加藤先生のご講演を聞き、教員が授業に集中できる環境づくりのために事務職員がどんな支援を充実させることができるか、事務職員が「チーム学校」の一員として学校内部組織におけるマネジメント機能の強化にいかん力を発揮できるかを考える機会となりました。

（文責 森井 清子）

調査研究部よりアンケート調査のお願い!



近年、子どもたちが主体性をもって学び、思考力、判断力、表現力を育む教育の実現のため、小中一貫教育や学校間連携、地域連携等さまざまな形の教育実践が行われています。

2015年7月16日には、中央教育審議会初等教育分科会、チームとしての学校・教職員の在り方に関する作業部会中間まとめ「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」が出されました。チームとしての学校を実現するためには、学校の組織体制の整備が必要であり、学校事務職員もそこに大きくかかわっていくことが求められています。子どもたちの状況や地域社会の変化の中での確に変化に対応できる学校組織にするためにすべての教職員がそれぞれの専門性を発揮しつつ協働していく必要があります。また、地域とともにある学校づくりが推進される中、地域との連携も不可欠です。第7期調査研究部は、「連携～つながり～」をキーワードに研究を進めています。

そこで、会員の皆様に「連携」についての考えや、学校事務職員としてのかかわりの実態をお聞きし、今後の研究の参考にさせていただきたいと考えています。アンケートはWEB回答としています。下記のURLにパソコンで接続していただくか、カメラ付き携帯電話でQRコードを読み取り、回答してください。同一のネットワーク環境から複数回アンケートを実施されますとエラーになります。複数配置校の会員の方は、それぞれ別のネットワーク環境を使用していただくか、スマートフォン等で回答いただきますようお願いいたします。

アンケートの結果につきましては、考察を行い、第7期調査研究部のまとめとして会員の皆様に報告をする予定です。お忙しいとは存じますが、ご理解いただきアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

記

○回答について PCまたは携帯電話で下記アドレスからアンケートフォームに入力 をお願いします。
アンケートURL <http://eng-maker.com/4FbV4qX>

カメラ付き携帯電話でQRコードを読み取ってください。



○回答期限 平成27年12月15日(火)



代議員会を開催しました!

2015年10月19日(月)代議員会を開催し、以下の内容で会計規則の一部改正を行いました。

- ①「収入決議書」の様式を新たに作成する
- ②「支出決裁書」の内容を見直し、「支出決議書」とする
- ③収入の項に「個人会費」の項目を設ける

学校事務セミナーのお知らせ

期日：2016年2月16日(火)
場所：大阪府教育会館(たかつガーデン)
講師：鳴門教育大学大学院学校教育研究科
高度学校教育実践専攻
教職実践力高度化コース
教授 久我 直人 先生
演題：「未定」